

2025年6月8日

## 主日礼拝

《礼拝》

礼拝讃美歌⇒353番 (SK 姉)

『わが君イエスよ』

聖書⇒マルコによる福音書 4章 35~41節 (MM 姉)

『その日の夕方になって、イエスは、「向こう岸に渡ろう」と弟子たちに言われた。そこで、弟子たちは群衆を後に残し、イエスを舟に乗せたまま漕ぎ出した。ほかの舟も一緒であった。激しい突風が起こり、舟は波をかぶって、水浸しになるほどであった。しかし、イエスは艫の方で枕をして眠っておられた。弟子たちはイエスを起こして、「先生、わたしたちがおぼれてもかまわないのですか」と言った。イエスは起き上がって、風を叱り、湖に、「黙れ。静まれ」と言われた。すると、風はやみ、すっかり凪になった。イエスは言われた。「なぜ怖がるのか。まだ信じないのか。」弟子たちは非常に恐れて、「いったい、この方はどなたなのだろう。風や湖さえも従うではないか」と互いに言った。』

礼拝讃美歌⇒382番

『風は吹き荒れて』

聖書⇒ヨハネによる福音書 3章 30節 (CM 兄)

『あの方は栄え、わたしは衰えねばならない。』

(祈り)

聖書⇒詩編 139編 13~18節 (SK 兄)

『あなたは、わたしの内臓を造り／  
母の胎内にわたしを組み立ててくださった。  
わたしはあなたに感謝をささげる。  
わたしは恐ろしい力によって／  
驚くべきものに造り上げられている。  
御業がどんなに驚くべきものか／

わたしの魂はよく知っている。  
秘められたところでわたしは造られ／  
深い地の底で織りなされた。  
あなたには、わたしの骨も隠されてはいない。  
胎児であったわたしをあなたの目は見ておられた。  
わたしの日々はあなたの書にすべて記されている／  
まだその一日も造られないうちから。  
あなたの御計らいは／  
わたしにとっていかに貴いことか。  
神よ、いかにそれは数多いことか。  
数えようとしても、砂の粒より多く／  
その果てを極めたと思っても／  
わたしはなお、あなたの中にいる。』

(祈り)

礼拝讃美歌⇒365番(旧242番)(KH兄)  
『ただ主を讃えて』

《パン裂き》

聖書⇒コリントの信徒への手紙一 11章 23~25節 (KH兄)

『わたしがあなたがたに伝えたことは、わたし自身、主から受けたものです。すなわち、主イエスは、引き渡される夜、パンを取り、感謝の祈りをささげてそれを裂き、「これは、あなたがたのためのわたしの体である。わたしの記念としてこのように行いなさい」と言われました。また、食事の後で、杯も同じようにして、「この杯は、わたしの血によって立てられる新しい契約である。飲む度に、わたしの記念としてこのように行いなさい」と言われました。』

(式)

礼拝讃美歌⇒142番(旧58番)  
『渡されたもう』

## 《建徳》

### 聖書⇒使徒言行録 2 章 1~4 節 (KH 兄)

『五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると、突然、激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響いた。そして、炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。すると、一同は聖霊に満たされ、“霊”が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話した。』

### 聖書⇒レビ記 23 章 5~6、10~12、15~16 節

『第一の月の十四日の夕暮れが主の過越である。同じ月の十五日は主の除酵祭である。あなたたちは七日の間、酵母を入れないパンを食べる。』

あなたたちはこの安息日の翌日、すなわち、初穂を携え奉納物とする日から数え始め、満七週間を経る。七週間を経た翌日まで、五十日を数えたならば、主に新穀の献げ物をささげる。』

### 聖書⇒使徒言行録 1 章 3~5 節

『イエスは苦難を受けた後、御自分が生きていることを、数多くの証拠をもって使徒たちに示し、四十日にわたって彼らに現れ、神の国について話された。そして、彼らと食事を共にしていたとき、こう命じられた。「エルサレムを離れず、前にわたしから聞いた、父の約束されたものを待ちなさい。ヨハネは水で洗礼を受けたが、あなたがたは間もなく聖霊による洗礼を受けられるからである。』

### 聖書⇒使徒言行録 2 章 4~13 節

『すると、一同は聖霊に満たされ、“霊”が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話した。さて、エルサレムには天下のあらゆる国から帰って来た、信心深いユダヤ人が住んでいたが、この物音に大勢の人が集まって来た。そして、だれもかれも、自分の故郷の言葉が話されているのを聞いて、あっけにとられてしまった。人々は驚き怪しんで言った。「話をしているこの人たちは、皆ガリラヤの人ではないか。どうしてわたしたちは、めいめいが生まれた故郷の言葉を聞くのだろうか。わたしたちの中には、パルティア、メディア、エラムからの者がおり、また、メソポタミア、ユダヤ、カパドキア、ポントス、アジア、フリギア、パンフィリア、エジプト、キレネに接するリビア地方などに住む者もいる。また、ローマから来て滞在中の者、ユダヤ人もいれば、ユダヤ教への改宗者もおり、クレタ、アラビアから来た者もいるのに、彼らがわたしたちの言葉で神の偉大な業を語っているのを聞こうとは。」人々は皆驚き、とまどい、「いったい、これはどういうことなのか」と互いに言った。しかし、「あの人たちは、新しいぶどう酒に酔っているのだ」と言って、あざける者もいた。』

### 聖書⇒ガラテヤの信徒への手紙 2 章 19~20 節

『わたしは神に対して生きるために、律法に対しては律法によって死んだのです。わたしは、キリストと共に十字架につけられています。生きているのは、もはやわたしではありません。キリストがわたしの内に生きておられるのです。わたしが今、肉において生きているのは、わたしを愛し、わたしのために身を献げられた神の子に対する信仰によるものです。』

礼拝讃美歌⇒234番（旧 201番）（KH 兄）

『生くるかいもなしひとり』

《建徳要旨》